

令和4年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学校探検や町探検において、自分たちが普段生活している学校や町に関心をもち、楽しみながら活動することができた。
- ・植物の栽培において、継続して観察したり世話をしたりすることができた。
- ・グループ活動を通じて、互いに意見を交流したり、協力し合ったりして、物事に取り組むことのよさに気付くことができた。

(2) 課題

- ・生き物の飼育において、興味をもって関わる児童とそうでない児童の差が見られた。
- ・自然の様子や四季の変化、特徴を理解し、伝えられる児童が少なかった。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自然の様子や四季の変化、特徴を理解させるために、児童に身近なもので、四季の変化がはっきりしている「さくらの木」などを中心に、それを取り巻く環境を1年間継続して観察する活動を行う。	・考えを広げ深める対話的な学びの充実として、教師の言葉がけを工夫することや、自然活動や自然遊びの中で、「比べる」「見つける」「たどる」といった「関連付けて表現する力」の定着を図る。	・対象との出会わせ方の工夫や子どもの思いや願いを大切にしたい課題を設定する。その際、導入やまとめとして、NHK for schoolの動画資料教材を視聴したり、気付きや疑問についてインターネットを活用したりする活動を充実させていく。